

俳句甲子園メール

2016年処暑号 No.014

NPO法人 俳句甲子園実行委員会 (E-mail:info@haikukoushien.com)
〒790-0814 愛媛県松山市味酒町1丁目10-2
TEL:089-943-1512(平日13:00~17:00) FAX:089-948-4819
松山市役所 文化・ことば課 (E-mail:bunkakotoba@city.matsuyama.ehime.jp)
〒790-8571 愛媛県松山市二番町四丁目7番地2
TEL:089-948-6952(平日8:30~17:15) FAX:089-934-1287

今回もたくさんのドラマを生んだ第19回俳句甲子園
全国大会。予選リーグ、トーナメント、表彰者の詳細、
大会の写真などを、俳句甲子園公式ホームページで発表
しています。(http://www.haikukoushien.com/)

第19回俳句甲子園 開成高校A 優勝

第19回俳句甲子園全国大会が8月20日・21日に愛媛県松山市内で行われ、開成高校Aが2年ぶり9回目の優勝を果たしました。

決勝戦を戦ったのは、第一日目のトーナメント2回戦で開成高校Aに敗れたものの、見事に敗者復活戦で勝ち上がり、準決勝戦では、開成Bに勝利し、その独特な感性の俳句が大会に旋風を巻き起こした東京家政学院。この2校は、6月に東京大会第一会場で行われた決勝戦では、家政学院が優勝。今大会3回目の対戦となりましたが、5対0で開成高校の完全優勝となりました。勝利した開成高校の山下真君は、「自分達が見てきた句を全てお見せすることができたことに喜びを感じています。句やディベートから、僕達の俳句に対する姿勢とか、例えば季語を大切にしている所とか、そういった所を少しでも皆さんに感じとって頂けたならこれ以上の幸せ

はないです。」と優勝の言葉を述べました。

優秀賞

- 短夜や大陸少しずつ動く (阪西敦子選) 愛媛県立松山高等学校・桐木知実
- 町たのし浴衣の子らに道問へば(高柳克弘選) 開成高等学校A・板倉健
- サーカスの獣はしづか天の川(星野高士選) 開成高等学校B・秋庭颯太
- 銀河噴くために蛇口は上を向く(夏井いつき選) 愛媛県立松山西中等教育学校・有馬史夏
- 一切は足音と風天の川(岸本尚毅選) 興南高等学校・

鶴岡夏鈴
■先生も浴衣になってゐる夜だ(池田澄子選) 愛媛県立宇和島東高等学校・丸田洋渡

■難民のキャンプに轍天の川(高野ムツ才選) 愛光高等学校・中矢温

■カーラジオ消す天の川流れ出す(西村和子選) 新潟県立巻高等学校・藤井海人

■FXポンド林檎が刺さりそう(今井聖選) 山口県立徳山高等学校B・金谷佑策

■海あたらし勝利のやうにヨットの帆(中原道夫選) 開成高等学校A・笠原悠二

■藍浴衣ことばは人間を使ふ(対馬康子選) 東京家政学院高等学校・大西菜生

■天の川現人神の頭蓋骨(関悦史選) 愛媛県立松山中央高等学校・岡部新

■鉄棒に腹くいこませ銀河見る(小澤實選) 北海道小樽潮陵高等学校・阿部遥花

最優秀賞(文部科学大臣賞)

豚が鳴く卒業の日の砂利踏めば

愛媛県立松山中央高等学校 2年 池内嵩人

池田澄子審査員長の総評

たくさんさんの素晴らしい俳句を見せて頂きました。熱い言葉をたくさん聞かせて頂きました。「私もこれからまだ書くわよ！」って言いたい気持ちになりました。俳句って言うのは、今日は、たまたま競争してまずけど、本当は人と戦うものではないんですね。自分と戦うものなんですよ。ね。「名句って言うのは失敗の隣にある。」自分と戦わないと失敗で終わってしまふし、そこで自分と向き合っていないといけない。これからは自分と向き合って、また来年もお会いできるといいなと思います。

全国大会の様を全国放送!!

高校生たちの17音に込めた
ひたむきな青春の姿をご覧ください。

俳句甲子園2016

NHK Eテレで全国放送

9月11日(日)午後4時~(予定)

小澤 實審査員長の講評

卒業という学生にとって一番大事な日と、砂利を踏めばという手応えのある動作と、豚の鳴き声がかうまく呼応し、響き合っている。素晴らしい句。